

毎 日 新 聞

2008年(平成20年)12月10日(水)

新ラベルで 限定販売へ

燻豆「山崎」の生酒
「三河鳥羽の火祭」

燻豆町西燻豆柿田の

「三河鳥羽の火祭」を手にする
斎藤吾朗さん(右)



酒造会社「山崎」は、
国指定の重要無形民俗
文化財「鳥羽の火祭り」
にちなむ生酒「三河鳥
羽の火祭」のラベルを
新しくし、12日から限
定販売する。

新しいラベルは、火
祭りで下帯姿の男た
ちが海に入り、身を清
める勇壮なみそぎの
光景。西尾市の画家
の斎藤吾朗さんが描
いた。

純米吟醸酒で、同

町の酒造米
「若水」を全
量使用した。

同社の山崎久
義・製造部
長は「キレの
ある辛口に仕
上がった」と
話してい
る。

720ミリ
入り1365
円と、1・8

び入り2835円。火
祭りが開かれる来年2
月まで販売する。

【佐野裕】